

京都大学医学部附属病院薬剤部 薬剤師レジデント試験 例題

レジデント採用試験の二次試験では、筆記試験（専門科目全般、語学、小論文）および面接試験を実施します。以下に専門科目および語学の出題形式および例題の情報を示します。

【専門科目全般】

代表的な疾患（がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症）に関する薬物療法に関連する専門知識を問う。試験問題は、大問 6 問程度で構成され、大問は正誤または記述解答からなる。

（例題 1）以下の問いに答えよ。

(1) 以下の抗 MRSA 薬に関する以下の文章について、正しければ○、誤っていれば×を解答欄に記せ。

- A. 投与開始後 24 時間までのテイコプラニンの累積尿中排泄率は 30%であるため、腎機能に応じた投与量の調整は必要ない。
- B. テイコプラニンは組織移行性が高いため、ローディングは必要ない。
- C. 最新のガイドラインにおいて、バンコマイシンの血中濃度をモニタリングする際に推奨されているのはバンコマイシンを投与する直前のトラフ値である。
- D. バンコマイシンは 60 分以上かけて緩徐に点滴静注することが推奨されている。
- E. バンコマイシンの副作用として、腎障害に注意する必要がある。

A:	B:	C:	D:	E:
----	----	----	----	----

(2) 尿路感染症には主にニューキノロン系抗菌薬やセフェム系抗菌薬が使用される。ニューキノロン系抗菌薬の多くは 1 日 1 回投与であり、セフェム系抗菌薬の多くは 1 日複数回投与される。このように投与回数に差が出るのかについて、抗菌薬の効果と相関する PK/PD パラメータを用いて説明せよ。

解答欄

(例題 2)

(1) 左室駆出率 (LVEF) の低下した心不全 (HFrEF) の治療の基本となる薬物について、その作用機序と代表的な副作用を説明せよ。

薬物名	作用機序	代表的な副作用
サクビトリルバルサルタン		
ダパグリフロジン		
エプレレノン		
ビソプロロール		
アゾセミド		

(2) 68 歳男性、体重 70 kg の心不全患者に対し、ジゴキシン錠を投与する。定常状態における平均血中濃度を 0.7 ng/mL に保つためのジゴキシン錠の維持投与量 (mg/day) を計算せよ。ジゴキシン錠の生物学的利用率は 70%とする。血清クレアチニン値は 1.0 mg/dL であった。なお、心不全時のジゴキシンの全身クリアランス (CL_{tot}) は以下の式で表されるものとする。

$$CL_{tot} \text{ (mL/min)} = 0.33 \text{ (mL/kg/min)} \times \text{体重 (kg)} + 0.9 \times \text{クレアチニンクリアランス (mL/min)}$$

解答欄

【語学】

薬物療法または薬剤師業務に関連する英文の読解および英作文を行う大問 2～3 問からなる。

(例題 3)

インスリン製剤が処方された患者に対して行う、使用方法と注意点を含む一般的な説明を英語で記述しなさい。

解答欄